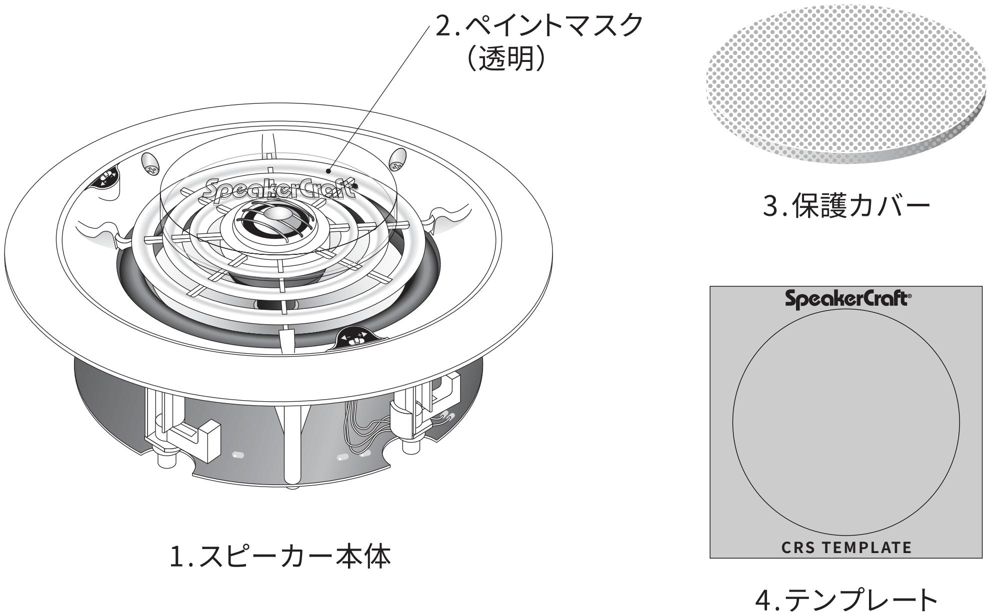
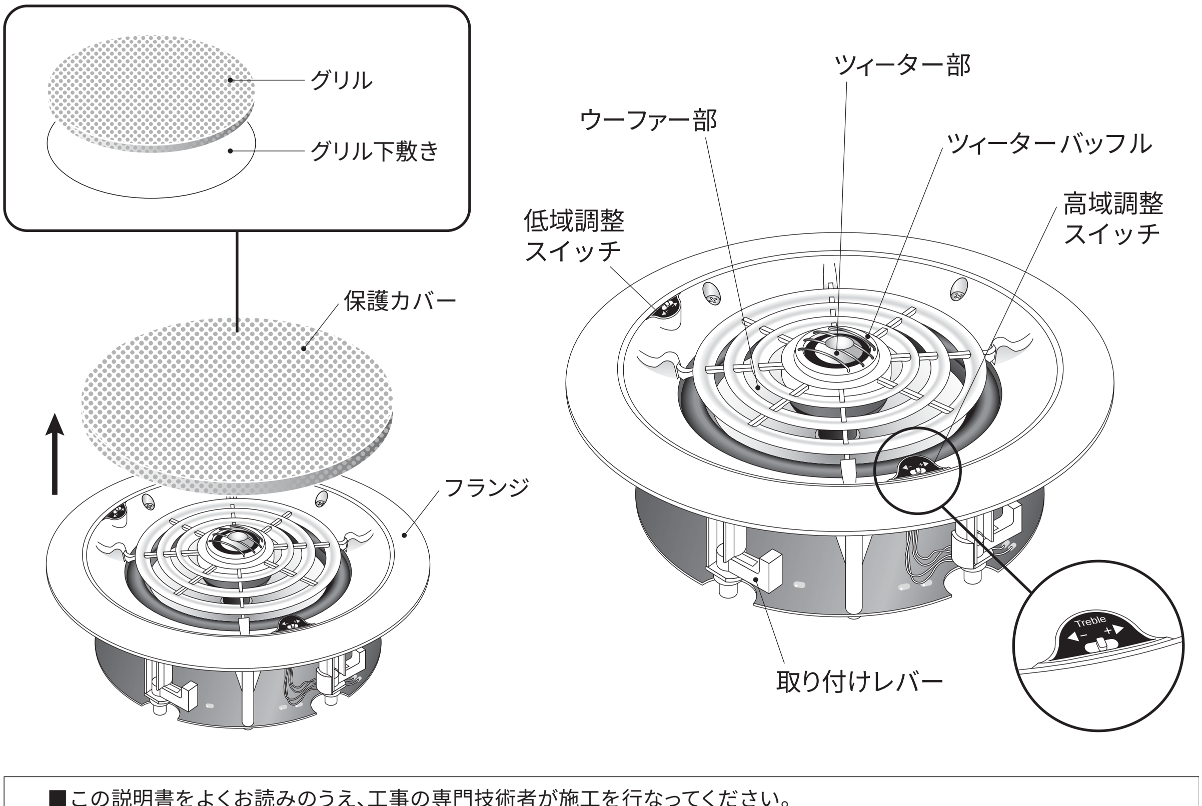
CRS THREE
In-Ceiling Speaker

取扱説明書

■梱包物の内容



■部位の名称



■この説明書をよくお読みのうえ、工事の専門技術者が施工を行なってください。
■施工の際には本製品のサイズおよび重量を考慮し、必要に応じて取り付け箇所への補強処理などを行なってください。
■この説明書は、必ずお客様にお渡しください。

安全にご使用いただくために

ご使用になる前に必ずこの取扱説明書をお読みいただき、正しくお使いいただきますようお願いします。
お読みになったあとは、保証書とともに大切に保管してください。

絵表示について

この「取扱説明書」および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味はつぎのようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

△記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容（図の場合は感電注意）が描かれています。

⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（図の場合は分解禁止）が描かれています。

●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中や近傍に具体的な指示内容（図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。

⚠警告

■故障したままの使用はしない

電源プラグをコンセントから抜いてください

●万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐにアンプの電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して、販売店に修理を依頼してください。

■改造しない

分解禁止

●本機を分解、改造しないでください。火災・感電の原因となります。

■水のかかるところに置かない

水場での使用禁止

●風呂場では使用しないでください。火災・感電の原因になります。

●本機は屋内専用に設計されています。ぬらさないようにご注意ください。内部に水が入ると火災や感電の原因となります。

■水の入った容器を置かない

●本機の上に花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器を置かないでください。こぼれて中に入った場合、火災・感電の原因となります。

■中に物を入れない

●本機の内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。

■中に水や異物が入ったら

電源プラグをコンセントから抜いてください

●万一、本機の内部に水や異物が入った場合は、すぐにアンプの電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。

■締めつけについて

●ネジなどによる締めつけは確実に行ってください。緩んだまま使用しますと、事故の原因となります。

■天井面の切断について

●天井面を切断する場合は、切断面のカエリ、切りくずなどはきれいに取り除いてください。ケガ・火災・感電の原因となります。

■取付け場所について

●本製品は一般屋内専用です。湿気の多い場所、振動のある場所、腐食性ガスの発生する場所等には、使用しないでください。火災・感電・落下の原因となります。
●スピーカーを取り付ける壁面や天井面の強度によっては、補強が必要な場合があります。

■取付け後のご使用にあたって

●取付け中、または取付け完了後に、本体にぶら下がったり、より掛かったり、むやみに力を加えたりしないでください。落下・破損の原因となります。

注意

■設置上の注意

●移動させる場合は、アンプの電源スイッチを切り、スピーカーコードをはずしてから行ってください。落下や転倒など思わぬ事故の原因になります。

■スピーカーコードは安全な場所へ

●スピーカーコードの配線された位置によっては、つまずいたり引っかかったりして、落下や転倒など事故の原因となることがあります。スピーカースタンドを使用した場合や高い所に置いた場合、壁に掛けた場合など、特にご注意ください。

■次のような場所に置かない

●調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
●湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

■接続について

●本機を他のオーディオ機器やテレビなどの機器に接続する場合は、それぞれの機器の取扱説明書をよく読み、電源スイッチを切り、説明に従って接続してください。

■使用上の注意

●電源を入れる前にはアンプの音量（ボリューム）を最小にしてください。過大入力でスピーカーを破損したり、突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。
●音量を上げすぎないようにご注意ください。耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聴くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

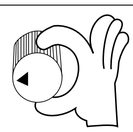
●長時間音がひずんだ状態で使わないでください。スピーカーなどが発熱し、火災の原因となることがあります。
●本機に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。特にお子様にはご注意ください。倒れたり、こわれたりしてけがの原因となることがあります。
●キャッシュカード、フロッピーディスクなど、磁気を利用した製品を近づけないでください。スピーカーの磁気の影響で使えなくなったり、データが消失することがあります。

■取付け場所について

●本製品を天井面に取付ける際は、充分な強度のある平らな面を選んでください。

●熱器具の近くや直射日光のあたるところには設置しないでください。近くで使用しますと、火災や事故の原因となることがあります。

音のエチケット／楽しい音楽も、時間と場所によっては気になるものです。隣近所への配慮を十分にしましょう。特に静かな夜間には窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。



スピーカーの配置

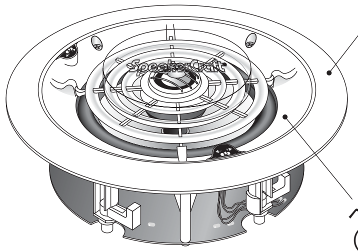
CRS THREEは独自のバッフル構造により、前方への音の放射に優れています。またツィーターの角度を調整できますので、より幅広いエリアに対して最適なリスニングポジションを設定していただけます。まずは天井裏の電線、配管、あるいは他の固定設備などの場所を考慮しながら、配置場所を決めてください。

※ツィーターの角度調整機構への負担をできるだけ小さくするために、調整前にこのマニュアルの「スピーカーの調整」の章を先にお読みください。

スピーカーの塗料塗布

1. スピーカーに塗料を塗りたい場合は設置前等、スピーカーを壁から外した状態で作業されることをおすすめします。フランジに塗布する時は、ペイントマスクが付いた状態で行なってください。

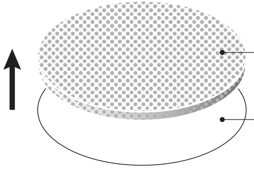
図1



2. 保護カバーのグリル部にも塗料を塗ることが可能ですが、その場合はグリル部の穴を塞いでしまわないように細心の注意を払ってください。

3. まず、グリルからグリル下敷きを外してください。グリルに塗料を塗った後、塗料が乾いたらグリル下敷きをもとに戻します。

図2



4. グリル下敷きにも塗布する必要がある場合には、グリルの塗布と同じ手順で行ってください。

5. 各部位の塗装が完全に乾いてから、スピーカーを天井に装着してください。

★塗料は原液1、塗料薄め液5の割合で作った塗料を軽くスプレー塗布することをお勧めします。

設置時における注意点

- 実際にスピーカーを設置する前に、あらかじめスピーカーの設置位置までケーブルを配線しておいてください。

- 取り付け準備に関して、新築する天井へのスピーカー設置については以降の「●取り付け準備ー新築用」を、建築済みの天井へのスピーカー設置については「●取り付け準備ー建築済み用」をご参照ください。

●取り付け準備ー新築用

1. 配置位置の決定

上記の「スピーカーの配置」の章に従って、天井のどの位置にスピーカーを配置するかを決めてください。

2. ブラケットの取り付け

次に必要に応じて新築用ブラケット(BKT-CRS6)を、説明書に従って取り付けてください。

3. プラスターボードの設置場所の準備

ブラケットを取り付けることによって、プラスターボード切り出し部分の周囲を安定させ、スピーカーの取り付け場所を完璧な状態にします。

●取り付け準備ー建築済み用

1. 配置位置の決定

まずスピーカーの設置に最も適した場所を選びます。この場所は、電線、HVACダクト、配管などの障害物がないところを選んでください。固定設備の位置を把握したり、また可能なら実際に屋根裏のスペースを覗いて障害物の位置を確かめることで、設置場所選びが確実になるでしょう。

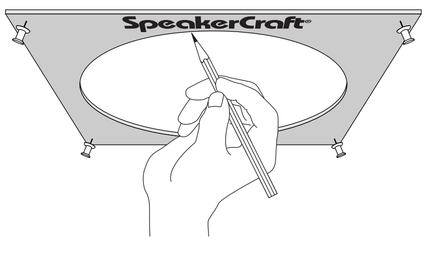
2. 障害物の特定

希望するスピーカーの設置場所に最も近い梁の位置を確認してください。梁の位置を見つけるには、正確な間柱検出器をお使いになることをおすすめします。スピーカーを部屋の何か他のものと並べて配置したい場合は、バッフルフランジ面の外端が、天井面の取り付け穴の外側に位置することを念頭においてください。

3. テンプレートの型取り

次に、取り付け穴の型を取ります。取り付け穴を型取るためのテンプレートが箱の中に入っています。取り付けたい天井の位置にテンプレートを置いて、輪郭を鉛筆で型取りしてください。

図3



4. 設置穴の切り取り

取り付け予定位置の内側の障害物の有無が分からない場合は、まず鉛筆で型取ったスペースの中央にドリル等で小さな穴を開けます。次にプラスターボード用のノコギリを使って、穴の内側の方向に４５度前後の角度で切り込みを入れます（図4-①参照）。この角度で穴を開けると、もし場所を変更する時に、切り出したカケラを使うことによってプラスターボードの修復がたいへん楽になります。
（４５度前後で切り込みを入れておくことで、プラスターボード本体との接着面積が大きくなります）
設置予定位置に障害物がないことを確認したら、今度はプラスターボードの表面に対して９０度の角度で最終的な穴を開けていきます（図4-②参照）。

図4-①

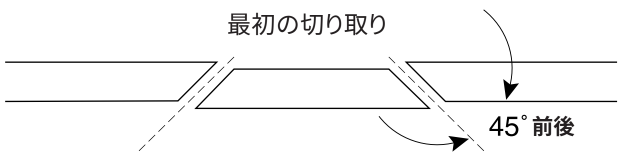
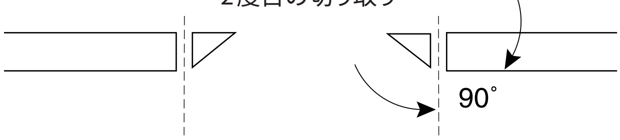


図4-②



5. 防音材の施工

次に防音材を施します。天井の設置場所がまだ防音されていない場合は、適量の防音材でスピーカーの後ろ側を軽く覆ってください。使用する防音材がホイルや紙でカバーしてある場合は、それらをスピーカーから離しておいてください。

スピーカーの設置

ユニークな4つの取り付けレバーが備えられているので、以下の手順を行うだけですばやい取り付けが可能になります。

1. まず、スピーカーについているペイントマスクを取り外してください。

2. 次にスピーカーケーブルを取り付けます（＋と＋、－と－になるように、アンプに正しい極を合わせてください）。必ず、アンプの左チャンネルは左のスピーカーと接続し、右チャンネルは右のスピーカーと接続するようにしてください。

3. スピーカーを天井の穴の中に入れます。取り付けレバーを内側に曲げてじゃまにならないようにしてください。

4. フランジが天井にぴったりと合うように、バッフル前面の４つのネジを順番に締めます。ネジを締めていくにつれて、取り付けレバーが自動的に外側の位置にはじき出され、レバーとフランジの間のプラスターボードを固定していきます（図５参照）。

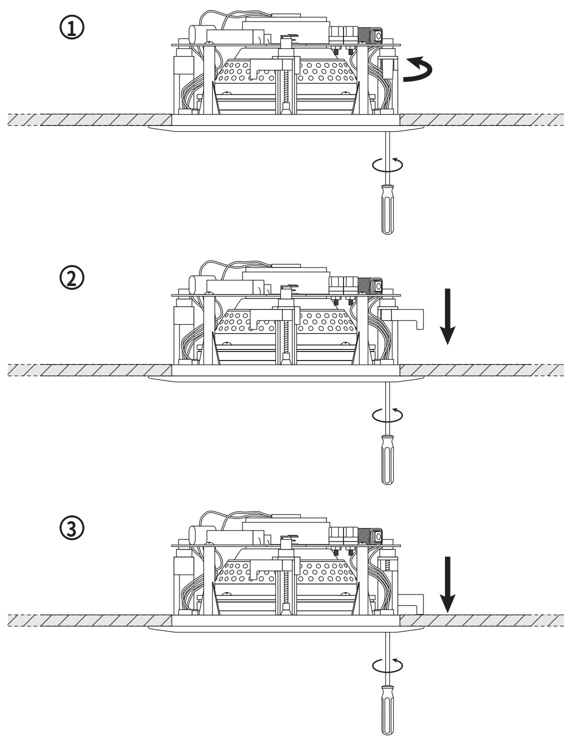
   ※スピーカーのフランジは、天井表面の少々の不備な点に合わせられるよう、曲がったり順応したりするようになっています。

5. 四隅のネジをしっかりと締めます。

   注意：ネジをきつく締めすぎるとバッフルをゆがませたり、天井にひびをいかせたり、フランジを変形させたり、グリルを取り付けにくくさせたりするおそれがあります。

6. 保護カバーをスピーカーバッフルの中にしっかりと押し込んでください。

図5



特殊な耐火壁への設置

このスピーカーを耐火された壁、あるいは新築の天井に設置する場合は、音響面からの配慮により本体の取り付け前に、別売エンクロージャーＳＥ1612-ＣＲＳをご使用ください。このエンクロージャーはスピーカーにスピーカーケーブルを直接接続するための標準電気クランプ型コネクターを備えていますので、ごく簡単に施工いただけます。

スピーカーの調整

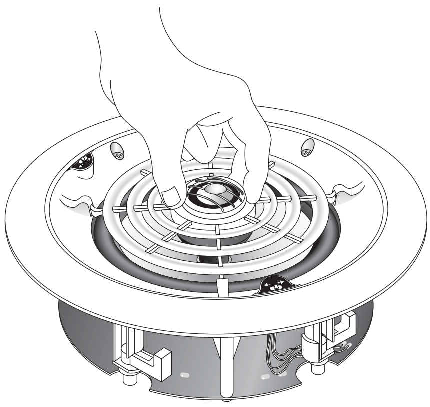
以下の調整はCRS THREEを天井面に設置する前に行なっておく方が、施工がスムーズに進みます。

●ツィーターの角度調整

リスニングエリアのCRS THREEからの位置や状況、部屋の音響的条件、天井の高さ、あるいは個人的好みなどによって、ツィーターをある特定の方向に向けることによって、サウンドをより楽しめるようになることもあります。主要リスニングエリアでの高音部の強度をもう少し上げたい場合は、ツィーターをリスニングエリアの方向に向けてください。逆に高音部を少し抑えたい場合には、ツィーターをそこから離れた方向に向けてください。望みの方向にツィーターを向けるためには、ツィーターの縁を軽く押してください（図6参照）。

※金属ドーム型ツィーターは、傷がつく恐れがありますので、ツィータードームを触らないようにしてください。

図6



●ツィーターの音量レベル調節

TREBLEスイッチの切り替えで、−3dB、0dB、＋3dBの3段階で高音域のレベル調整を行えます。お好みに合わせて調整してください（図7参照）。

●ウーファーの音量レベル調節

BASSスイッチの切り替えで−3dB、0dB、＋3dBの3段階で低音域のレベル調整を行えます。ただし調整次第でインピーダンスが下記のように変化します。接続されるアンプの許容インピーダンスをご確認のうえ、調整してください（図7参照）。

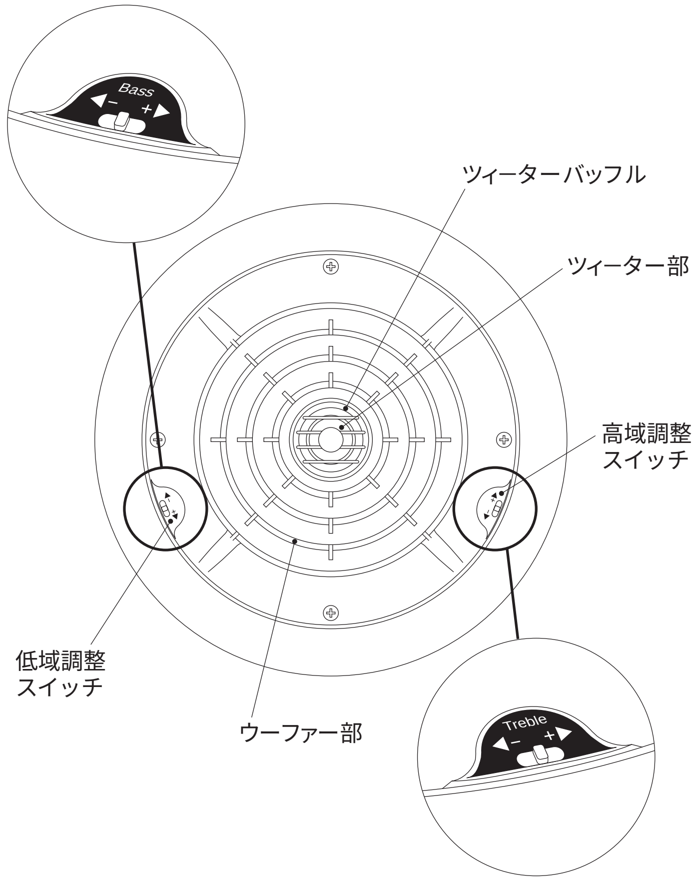
●BASS部調整によるインピーダンスの変化

−3dB ⇨ 8Ω

0dB ⇨ 6Ω

+3dB ⇨ 4Ω

図7



※ツィーターとウーファーの調整は、
保護カバーを外した状態で行なってください。

■CRS THREE 仕様

ツィーター	2.5cmアルミニウムドーム型
ウーファー	16.5cmアルミニウムコーン型
再生インピーダンス	8/6/4Ω（BASS調整により変化）
入力感度	90dB（1W/1m）
周波数特性	40Hz～20kHz ±2dB
許容入力	5～125W
直径×奥行き	25.0cm×10.7cm
カットアウト寸法	直径 21.0cm
重　　量	1.6kg

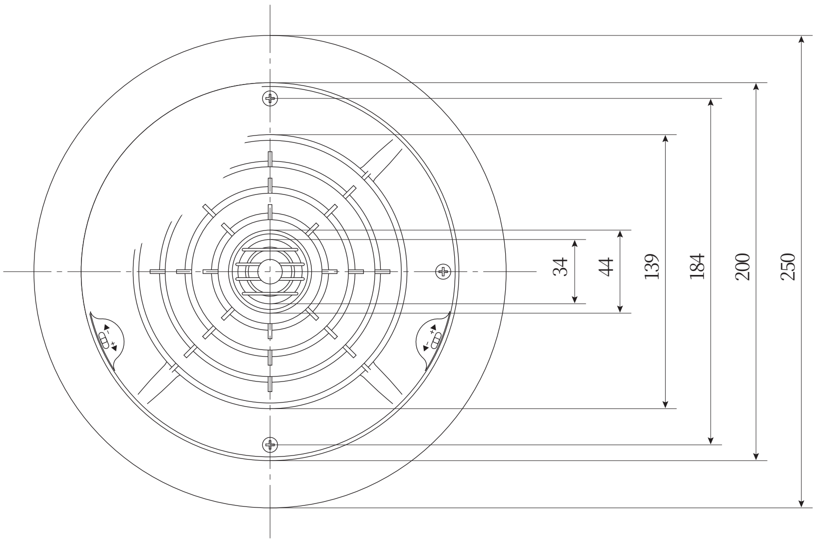
※製品の特徴や仕様が予告なく変更されることがあります。

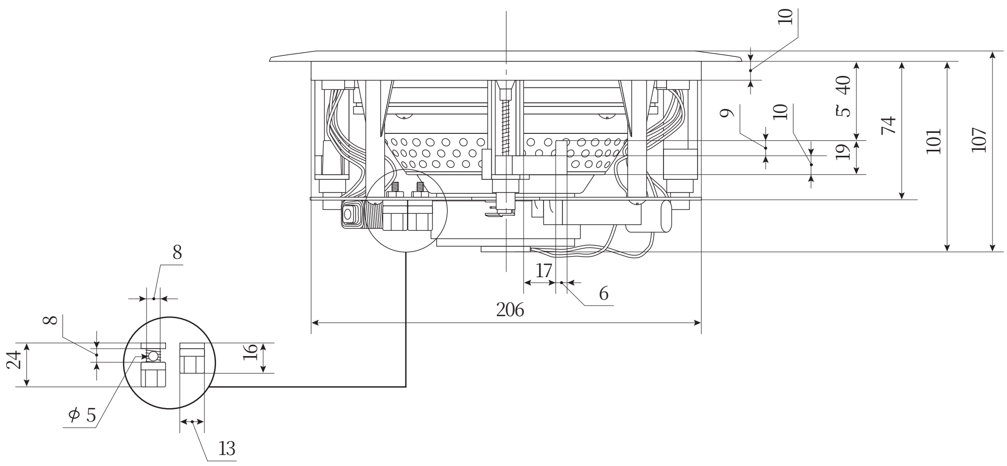
SpeakerCraft社製品ご相談・修理窓口のご案内

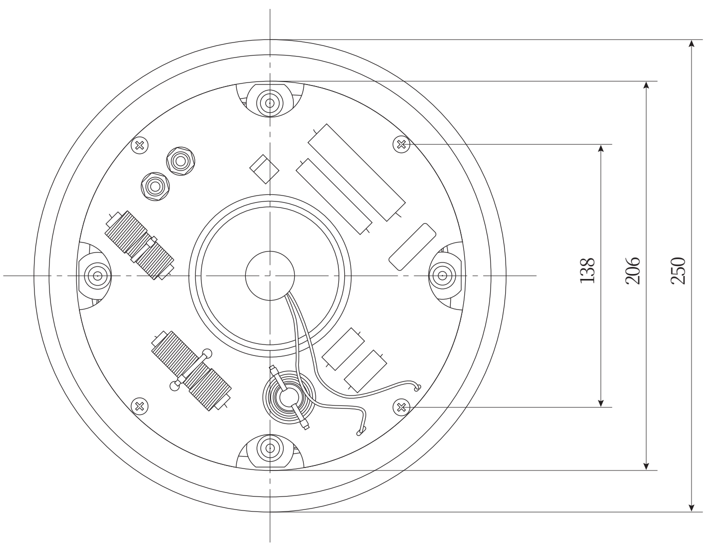
オンキヨー株式会社　カスタマーセンター

- e-mail：customer@onkyo.co.jp
- TEL：ナビダイヤル　0570-01-8111（全国どこからでも市内料金で通話）または　072-831-8111（携帯電話、PHSから）
- 郵　便：〒572-8540 大阪府寝屋川市日新町2-1 オンキヨー株式会社　カスタマーセンター行

外形寸法：直径 25.0×高さ 10.7cm
カットアウト寸法：直径 21.0cm
重量：1.6kg







SpeakerCraft®

輸入販売元

ONKYO®

オンキヨー株式会社

本社／大阪府寝屋川市日新町2−1　〒572-8540